

大阪府都市計画審議会 常務委員会

【第1回 都市計画公園・緑地(府営公園)見直し検討委員会】

大阪府都市整備部総合計画課

大阪府都市計画審議会常務委員会

第1回 都市計画公園・緑地(府営公園)見直し検討委員会資料

2. 都市計画公園・緑地(府営公園) 見直し検討の進め方について

委員会の進め方(案)

平成23年8月 第1回都市計画審議会

《第1回委員会》①現状や背景、現状分析を受けた見直しのスタンスの整理
②社会経済情勢に応じた府営公園として必要な機能とその評価方法の整理

《第2回委員会》④代替可能・不可能な機能の整理
⑤実現性(事業困難地等)の考え方の整理(墓、寺、集落、道路等)
⑥代表的な公園における見直しプラン検討(ケーススタディ)

《第3回委員会》⑦府営公園の見直し方針の整理 (見直しフローの整理)

平成24年2月 第2回都市計画審議会 見直し方針(案) 報告

平成24年2月 パブリックコメントの実施

平成24年3月 見直し方針 策定 公表

大阪府都市計画審議会常務委員会

第1回 都市計画公園・緑地(府営公園)見直し検討委員会資料

3. 府営公園の概要

府営公園の概要＜歴史的経緯＞

明治6年 太政官布達

箕面公園 住吉公園 浜寺公園

大正8年 旧都市計画法公布

…公園が都市計画施設として位置づけられる

昭和16年 大阪緑地計画

服部緑地 大泉緑地 久宝寺緑地

二色の浜公園 住之江公園 長野公園

蜻蛉池公園

昭和38年 大阪地方計画

昭和43年 都市計画法公布

↓ 寝屋川公園 山田池公園

昭和40年代後半
自然環境の保全、積極的な公園づくり

↓ 錦織公園 深北緑地 せんなん里海公園

昭和50年代 量的確保から質的充足への転換

枚岡公園



府営公園の概要<歴史的経緯>

昭和59年 大阪府緑のマスタープラン

- …環境保全・レクリエーション・防災を目的として緑地を配置。「五大放射一環状」型の緑

石川河川公園 りんくう公園

平成5年 大阪府公園基本構想

- …府営公園の指針
公園を「総合公園」「風致公園」「海浜レクリエーション公園」「都市林公園」の4つに類型化。全27ヶ所、面積約2,400haの構想

平成11年 大阪府広域緑地計画

- …施設緑地13m²/人の確保を目標
(うち都市公園11m²/人)

社会経済情勢の変化
施設緑地の実現性が困難

平成21年 みどりの大阪推進計画

- …施設緑地13m²/人の確保を目標を**削除**
公民の施策などによる緑化戦略の位置づけ
「緑地」の割合を4割以上確保、緑被率20%



大阪府都市計画審議会常務委員会

第1回 都市計画公園・緑地(府営公園)見直し検討委員会資料

4. 見直しのスタンスの整理

今後の方向性

現状

公園緑地は足りない
府民はまだまだみどりが足りないと感じている
府民は公共、民間の多様なみどりづくりが必要と認識
上位計画において多様な「みどり」を重視

背景

人口減少、少子化、高齢化、財政状況の悪化、防災リスクの高まり

課題

長期の権利制限への対応、防災リスクへの対応

方向性

都市づくりにおいて「みどり」の施策を重要視

「みどり」の充実を一層しっかりと行っていける現実性のある施策を展開

公共の取組み

民有地緑化や既存の緑の保全など

一体的な
評価

→ 都市計画公園・緑地の見直し

存在効果

- ・ 都市環境の保全
- ・ 都市景観の形成
- ・ 水源かん養や生物多様性の確保
- ・ 防災機能の向上

媒体効果

- ・ 商業、観光
- ・ 交流
- ・ 福祉
- ・ 教育・文化
- ・ 安心

利用効果

- ・ スポーツ・レクリエーション
- ・ やすらぎ・憩い

(出典:みどりの大阪推進計画他)

存在効果

都市環境の保全

- ・ヒートアイランド現象の緩和
- ・地球温暖化対策への寄与
- ・大気浄化



都市景観の形成

- ・美しい風格のある景観の形成



(出典:みどりの大阪推進計画他)

存在効果

水源かん養や生物多様性の確保

- ・水源かん養機能
- ・野生生物の生息環境の確保
- ・地域の自然環境の保全



防災機能の向上

- ・延焼防止
- ・避難路、避難地の確保
- ・救援、復旧復興拠点の確保
- ・土砂災害防止



(出典:みどりの大阪推進計画他)

利用効果

スポーツ・レクリエーション

- ・各種スポーツ利用
- ・健康維持・増進に寄与



やすらぎ・憩い

- ・やすらぎ・憩い空間の提供



(出典:みどりの大阪推進計画)

媒体効果

商業・観光

商業空間などでの花・樹木の活用が、施設の集客向上や観光振興につながる。



交流

校庭の芝生化への多様な主体の参加など、みどりを活かした活動が地域のコミュニティを育成。



(出典:みどりの大阪推進計画)

媒体効果

福祉

花・樹木の育成作業が、高齢者などの健康増進や生きがいづくりにつながる



教育

地域の文化や自然を活かした体験学習が、子どもの環境教育につながる。



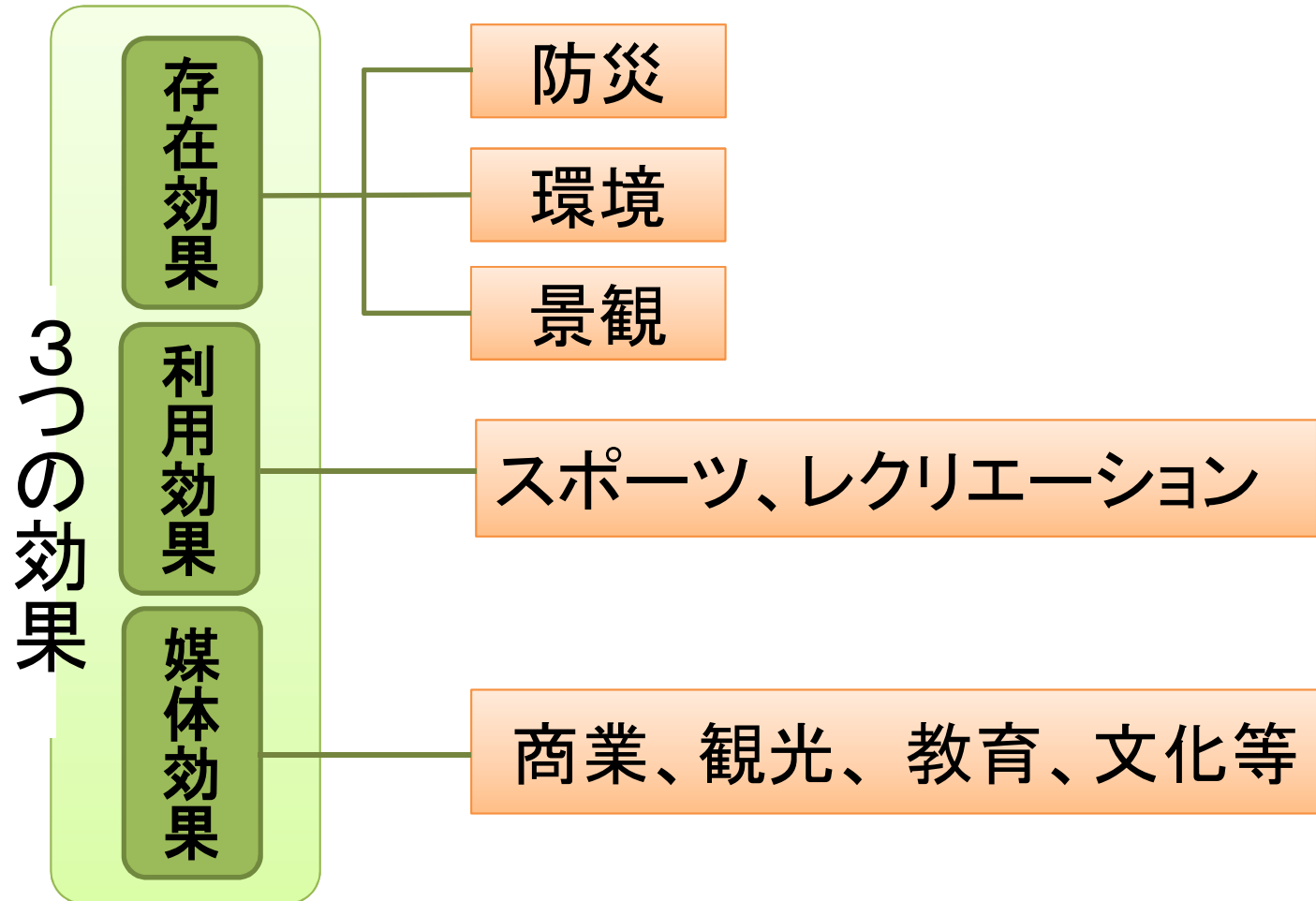
安心

街かど花壇での緑化活動が、互いに声を掛け合える安全なまちづくりにつながる。



(出典:みどりの大阪推進計画)

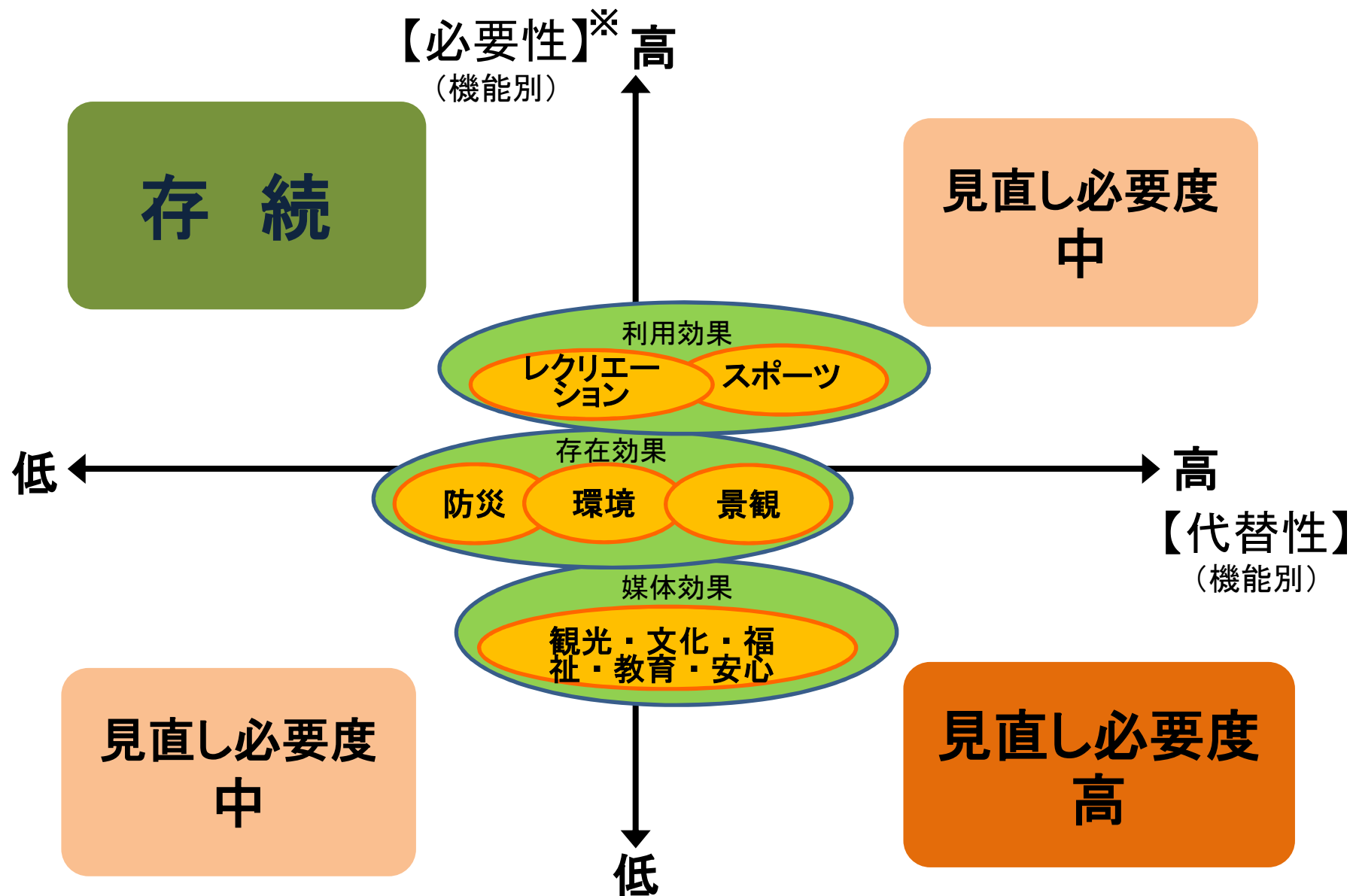
◎必要性(機能別)



◎代替性(機能別)

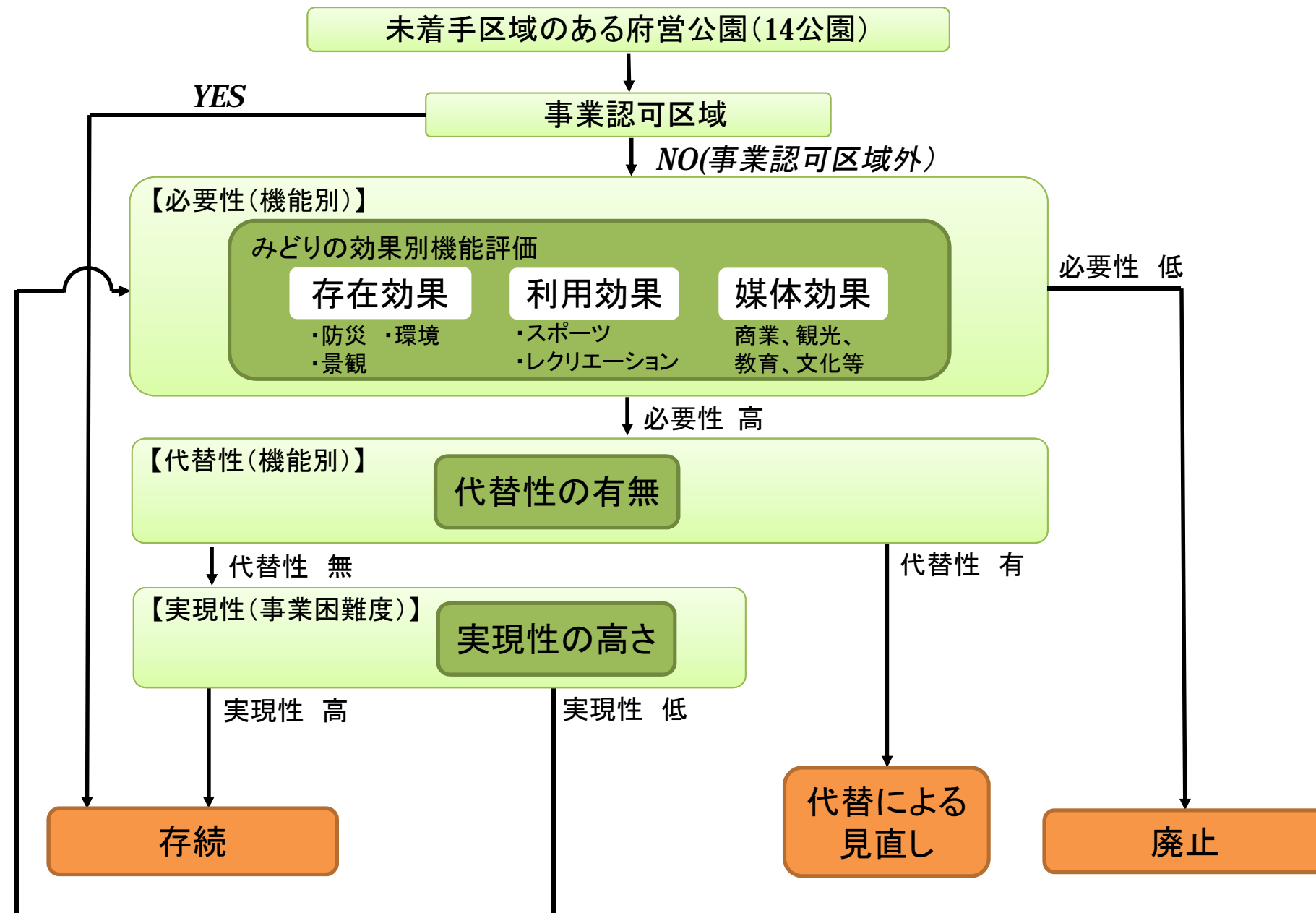
既存の緑地の保全(地域制緑地)等による機能の代替検討

機能別評価方法の概念図



※必要性の評価では、各機能における現開設区域の充足度や未整備事業区域の必要性について評価する

見直しの大まかな流れ(案)



社会経済情勢に合わせ将来的に必要性を再検証

大阪府都市計画審議会常務委員会

第1回 都市計画公園・緑地(府営公園)見直し検討委員会資料

5. 社会経済情勢に応じた府営公園として 必要な機能とその評価方法の整理

評価カルテの具体的な項目(イメージ)

効果	機能	評価内容	評価基準
存在	防災	広域避難地としての必要面積を満たしているか	〇〇ha以上 (公園ごとに規定)
	環境	クールスポットとしての必要面積を満たしているか	〇〇ha以上
		地域の生態系を保全する規模を満たしているか	〇〇ha以上
	景観	未事業区域に守るべき貴重な景観があるか	—
利用	スポーツ・レクリエーション	開設区域はスポーツ需要に対する必要量を満たしているか	施設の利用状況などにより評価
媒体	商業・観光・教育・文化等	開設区域は地域活性化、観光振興等などに貢献し、期待しうる効果を満足しているか	—